

第5学年 人権学習指導案

1 題 材 ちがいのちがい

2 内容項目 3－（2）－ア 人間関係の活性化

3 ね ら い

「あってもよいちがい」と「あるとよくないちがい」について考えることを通して、社会における「あるとよくないちがい」についての解決方法や対処の仕方について自分の考えをもち、実践する意識をもたせる。

4 展 開

学習内容	指導上の留意点・教師の支援
<p>1 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">世の中にある様々なちがいについて考えよう。</p> </div>	
<p>2 個人で、「ちがいのちがい」の項目から、「あってもよいちがい」「あるとよくないちがい」に分けて、ワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理由もあわせて考えさせる。
<p>3 グループで考えを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理由もあわせて考えを交流させる。 ・自分とちがう意見にも耳を傾けるよう促す。
<p>4 全体で考えを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優劣を決めるのではなく、いろいろな考え方があることを理解させ、その理由を述べ合い、違いを尊重し合うことの大切さを感じ取らせたい。
<p>5 「あってもよいちがい」「あるとよくないちがい」の特徴を考え、ワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性として尊重すべきものと、差別につながる見過ごしてはいけないものがあることに気づかせる。
<p>6 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「あってもよいちがい」と「あるとよくないちがい」について考えたことをワークシートに書かせる。

さまざまなちがいについて考えよう

5年（ ）組・名前（ ）

1. あなたの考え（○印）と、その理由を書きましょう。

	あってもよい ちがい	あるとよくない ちがい	理由
① 日本では食事のときにはしを使うが、インドでは手を使って食べる。			
② Aさんは、ひとりでどこへでも自由に旅行できるが、車いすのBさんは、ひとりで電車やバスに乗ることができない。			
③ A国では、ワクチンを接種できずに亡くなってしまう子どもがいるが、B国ではワクチンを接種してほとんどの子どもが健康に生活できる。			
④ 血液型がA型のAさんには仕事を任せるが、B型のBさんには任せることができない。			
⑤ おうちの方は、妹には食事の片づけをさせるが、兄には何も言わずおうちの人が片づけている。			
⑥ Aさんにはにんじんが苦手食べないが、Bさんは何でも食べる。			

2. 「あってもよいちがい」と「あるとよくないちがい」のそれぞれの特徴を考えましょう。

3. 振り返りを書きましょう。
